

成果の説明書

(氏名) 坪井 明彦	(学部) 地域政策学部
1 重要事項 (1) 教育活動 ① 演習Ⅱにおいては、就職活動で実家に帰省している学生でも出席できるように、オンラインでの出席にも対応できるよう、Teams や Zoom を活用することで、例年よりも高い出席率を維持できた。 ② 講義について、対面授業においても毎回課題を課すために、その回の内容に合い、学生の興味を引くような雑誌記事を探し、そこから課題を作成し提出させた。学生は授業を聴いているだけではなく、課題に取り組むことで、より主体的な学びにつながるように工夫した。 (2) 研究活動 坪井明彦 (2022) 「芳香・消臭製品の事業展開に関する一考察—マーケティング競争のデュアリティと「戦略の窓」の視点から—」『地域政策研究』25-2、高崎経済大学地域政策学会 (3) 学会活動 ① 日本ビジネス実務学会における活動 日本ビジネス実務学常任理事として、日本ビジネス実務学会の運営に尽力した。また、編集委員として、『ビジネス実務論集 No41』(2023 年 3 月発行) の、査読や審査に尽力した。また、全国大会における個別研究発表の座長を務めた。 関東東北ブロック運営委員として、ブロック研究会における準備や研究発表の座長を務めた。 ② 日本地域政策学会における活動 支部活動組織委員長(常任理事)として、学会運営のために尽力した。 ③ 日本経営診断学会における活動 本部幹事として、2022 年度の理事会や総会の準備、規程等の改定など、学会運営のために尽力した。	
2 その他の事項 特になし	
3 次年度以降の計画・抱負 (1) 2023 年度においても、ゼミ活動を通じた PBL に取り組むことと地域活性化に貢献するような教育・研究に取り組んでいきたい。その課題に取り組む中で地域貢献を果たすと共に学生の社会人基礎力と呼ばれるような様々な能力の向上を目指していく。 講義においても、学生が授業に対して受け身の姿勢で知識の習得を図っていくのではなく、より主体的に学び、自分のこととして社会を考えられるような方法に転換していくことを計画している。 (2) 学会活動においては、日本ビジネス実務学会で関東・東北ブロックの責任者を務	

める予定である。ブロック研究会の企画・準備・運営に尽力したい。また、日本経営診断学会において、大会運営委員長（理事）を担当することになった。2023 年度全国大会の企画・準備に尽力したい。